

## 5 ニホンヤモリ

(ヤモリ科)

兵庫県ランク:要注目

*Gekko japonicus*

環境省ランク:-

## 種の概要

本州、四国、九州と周辺島嶼に分布。北海道の一部でも見つかっているが、近年の人為的な分布拡大の結果と思われる。国外では中国東部と韓国の一部からも知られている。民家周辺に多く、しばしば物資に付くなどして人為的に運ばれるため、県内を含む国内の集団のほとんどすべてが、人為的な移入に由来する可能性も指摘されている。成体は雌雄とも頭胴長50～60mmほどで、破損していない尾もほぼ同じくらいの長さ。胴部や四肢の背面は細かい鱗に覆われるが、結節状の大型鱗が混じる。側肛門疣は2～4個の大型鱗から成る。



## 県内における生息状況及びその他特記事項

県内の瀬戸内海沿岸から分水嶺にかけての集落、さらには一部、日本海側の集落にも見られる。淡路島や神戸市、姫路市などの木造家屋が多いエリアでは比較的高密度で見られるが、例えば神戸市北区の一部地域のように、近年、木造家屋から鉄筋コンクリート製家屋への建て替えが進んでいる地域では、生息密度の顕著な低下が認められる。

写真提供:市川 隼平

## 保護上の留意点

周辺に緑が多く、夜間、灯火に双翅目や鱗翅目などの昆虫がよく集まり、また壁や天井に冬季の越冬に使える適度な隙間のある民家が、生息環境として好まれ、こうした環境を残してゆくことが望まれる。

## 県内分布

神戸市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、加古川市、高砂市、小野市、加東市、姫路市、上郡町、豊岡市、洲本市、南あわじ市、淡路市

【執筆者】太田 英利

## 主要な選定理由

人為性	激減	
	環境	△
	捕獲	
	遺伝	
特殊性	特殊	
	孤立	
学術性	極限	
	限界	
	希少	

